

丁寧な熱心な作業も技術の一つです！！

## 雨の日、MH際間よりブクブク臭気漏れ、その原因は？



当該処理槽のメンテナンス委託を受けた時点での散気弁の状況です。散気弁は、半開き、全閉となっていました。

空気供給能力を上げるために、散気弁を少しずつ開放していきました。

その結果、居住者様から臭気でくさいとの苦情とお叱りを受けました。

処理槽内の臭気抑制のため、曝気力を更に強化しました。

ところが雨の日、処理槽MHからブクブク臭気が出てきました。

**原因が屋上臭気排気口にありと判断し、屋上排気口の点検となりました。**



## 屋上臭気排気口点検、原因①

排気が充分でない原因の一つは、臭気ファン排気口の目皿が、雨天時の降水で膜をつくり排気風量を大きく落していたことが主原因と断定しました。



## 屋上臭気排気口点検、原因②

二つ目の原因は、排気に伴う埃などが目皿の開口を封鎖していた、そのため排気能力が失速していたと判断できました。



屋上臭気ファン、排気全景  
臭気ファンは地下ブローピットに設置しています。

## 屋上臭気排気口点検、原因③

目皿の埃を取り、排気量を測定しました。その結果、排気風量は、90%の風量を確保していました。



**今後とも雨天は避けて通れません。そこで、排気口の目皿を取り外しました。排気は能力を発揮し、処理槽MHより臭気漏れは無くなりました。まずはMHからの臭気漏れから解放されました。**

引き続き処理槽の臭気緩和作業が残っています。メンテナンスの技術の見せどころです。

## 水物語 No77

## 皇居のお堀で「ハスの群生」を見つけました！！



7月5日の朝、知事選挙の投票を済ませて皇居まで散策に出掛けました。皇居を走る市民ランナーと並走しながら進むと、清水門手前に広がる清水濠でハスの群生と出会いました。咲き終わったハス、未だ蕾のハス、丁度見頃のハスと様々な光景を見ることができました。

ハスの花は、かたい蕾が力を入れて花が咲きます。その瞬間は「ボン」という音を立てて咲くと言われていました。早朝に蕾が開くと、透き通るような桃色の花弁が現れ、午後になると閉じて次の日にまた咲きます。それを4日程繰り返し、最後には花を閉じる力も尽き、そのまま散っていく、とても見頃の短い花です。

ハスは、インド、中国、オーストラリア、日本などの湿地に広く分布する水生植物です。

ハスには、塊茎が大きくなるように改良された「食用蓮：蓮根」と花を觀賞する花ハスの2種あるそうです。

汚泥ゼロ・臭気ゼロ！

DSPハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス東京

皇居のお堀に咲くハスは、觀賞用のハスでしょうか？